



# CHAPTER 7

## システム メンテナンス

この章では、システム ソフトウェアのアップデート、サービスの再起動、Vault および Streamer サーバのシャットダウンを含む、共通管理作業の実行方法について説明します。この章は、次の内容で構成されています。

- 「ユーザ アクセス」 (P.7-2)
- 「サーバ メンテナンス」 (P.7-5)
- 「サービスの再起動」 (P.7-9)
- 「ソフトウェア メンテナンス」 (P.7-9)
- 「マニュアル」 (P.7-13)



(注)

分割ドメイン管理で仮想ビデオ インフラストラクチャ (VVI) がイネーブルの場合、Vault または Caching Node に関連付けられた CDSM ページは VVI Manager (VVIM) にだけ表示され、Streamer に関連付けられた CDSM ページは Stream Manager にだけ表示されます。詳細については、「[仮想ビデオ インフラストラクチャ](#)」 (P.D-6) を参照してください。



(注)

この章で説明する機能を実行する読み取り / 書き込み権限が必要です。



注意

この章で説明する機能の多くは、CDS サーバをリポートする必要があります。Vault サーバをリポートすると、ストリーム サービスは中断されませんが、現在の取り込みは失敗します。CDS にストリーム フェールオーバー機能が含まれていない場合、Streamer をオフロードせずにリポートすると、すべてのストリーム サービスが中断されます。可能であれば、システムにアクティブに接続されているユーザ数が最小である間に、システムの再起動が必要な機能を実行する必要があります。

## ユーザアクセス

CDS は次のネットワーク構成のいずれかで構成されます。

- 1 台以上の Vault サーバ、1 台以上の Streamer サーバ、および 1 台の CDSM
- 1 台以上の ISV サーバおよび 1 台の CDSM

CDS のすべてのコンポーネントは CDSM で一括して設定、モニタおよび管理されます。CDSM は独自のサーバ上で動作するブラウザベースのインターフェイスです。ただし、CDSM 機能を含む ISV システムもあります。

CDS は、次の 3 つのレベルのユーザアクセスを提供します。

- *Read only* アクセスでは、設定とモニタリング機能への表示アクセスのみを提供します。
- *Read/write* アクセスでは、設定を変更し、システムのすべての状態をモニタできる機能を提供します。また、*Read/write* アクセス権を持つユーザは、CDS でソフトウェアアップグレードを実行し、サーバを再起動し、サービスを再起動できます。
- *Master* アクセスには、*Read/write* レベルのすべての権限があり、別のユーザのアクセスレベルを追加、削除、および変更できます。
- *Engineering* アクセスは、CDS 診断用およびインストール時に CDS を初期化するときに主に使用されます。CDS の設定後、日常の操作に *Engineering* アクセスレベルのユーザは必要ではありません。

1 人の組み込みユーザ「admin」には、Master ユーザ機能が与えられています。これは、新しいシステムに存在する唯一のユーザです。

## ユーザ設定

CDS は Master レベルのアクセス権限を持つ 1 人の組み込みユーザ「admin」を提供します。このユーザは削除できません。Master ユーザはさまざまなアクセスレベルを持つ別のユーザを追加できます。

ユーザを追加するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Maintain] > [Users] > [Add User] を選択します。[Add User] ページが表示されます。
- ステップ 2** 表 7-1 の説明に従って、フィールドに入力します。

表 7-1 [Add User] フィールド

フィールド	説明
New User	ユーザ ログイン ID。ユーザ名は 25 文字以内にする必要があります。米国規格協会 (ANSI) 文字セットから、任意の 7 ビット文字を使用できます。
Password	ユーザ ログイン名に関連付けられたパスワード。パスワードは 5 文字以上にする必要があります。最大は 20 文字です。
Access	ドロップダウンリストから適切なアクセスレベルを選択します。アクセスレベルの説明については、この項「ユーザアクセス」(P.7-2) の最初の部分を参照してください。

- ステップ 3** [Add User] をクリックして、このユーザを追加します。
- フィールドをクリアしてやり直すには、[Reset] をクリックします。
-

## ユーザ設定の編集

ユーザパスワードとアクセスレベルを変更するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Maintain] > [Users] > [Edit User] を選択します。[Edit User] ページが表示されます。
- ステップ 2** [Action] ドロップダウンリストから、[Change Password] または [Change Access] を選択します。
- ステップ 3** [User Name] ドロップダウンリストから、ユーザ名を選択します。
- ステップ 4** 新しいパスワードを入力するか、必要に応じてアクセス権限を選択します。これらのフィールドの説明については、表 7-2 を参照してください。

表 7-2 [Edit User] フィールド

フィールド	説明
New Password	ユーザ ログイン名に関連付けられたパスワード。範囲は 5 ～ 20 文字です。
Access	ドロップダウンリストから適切なアクセスレベルを選択します。アクセスレベルの説明については、この項「ユーザアクセス」(P.7-2)の最初の部分を参照してください。

- ステップ 5** [Submit] をクリックして変更を保存します。  
フィールドをクリアしてやり直すには、[Reset] をクリックします。

## ユーザの削除

ユーザリストからユーザを削除するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Maintain] > [Users] > [Edit User] を選択します。[Edit User] ページが表示されます (図 7-1 (P.7-4))。
- ステップ 2** [Action] ドロップダウンリストから、[Delete User] を選択します。
- ステップ 3** [User Name] ドロップダウンリストから、ユーザを選択します。
- ステップ 4** ユーザを削除するには、[Submit] をクリックします。  
フィールドをクリアしてやり直すには、[Reset] をクリックします。

## ユーザ設定の表示

すべてのユーザ設定を表示するには、Master アクセスレベルでログインする必要があります。  
[Maintain] > [Users] > [View Users] を選択します。[View Users] ページが表示されます。

## ユーザのデフォルト設定の変更

[User Default Settings] ページでは、CDSM にログインするたびにユーザの設定が呼び出されるように、[Media Scheduler] ページの設定を指定できます。Master レベルのアクセス権を持っている場合は、すべてのユーザの設定を指定できます。メディア スケジューラの詳細については、「[Media Scheduler の設定](#)」(P.3-49) を参照してください。

ユーザのデフォルト設定を変更するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Maintain] > [Users] > [User Default Settings] を選択します。[User Default Settings] ページが表示されます。
- ステップ 2** [Select User] ドロップダウン リストから、ユーザを選択します。[User Default Settings] ページがリフレッシュされ、ユーザ設定が表示されます (図 7-1)。

図 7-1 [User Default Settings] ページ

- ステップ 3** ページの [Media Scheduler Preferences] セクションで、必要に応じて選択します。フィールドの説明については、[表 7-3](#) を参照してください。

表 7-3 Media Scheduler Preferences

フィールド	説明
Action on Recurring Schedules	[Preserve Existing Schedules] または [Overwrite Existing Schedules] のいずれかを選択します。このオプションは、ユーザが生成したスケジュールのみを対象にしており、アップロードした電子番組ガイド (EPG) データは対象外です。  [Preserving Existing Schedules] は、ユーザが選択した日付およびチャンネルに現在スケジュールされているすべてのコンテンツを維持し、空のタイム スロットのみを入力します。[Overwrite Existing Schedules] は、ユーザが選択した日付およびチャンネルに現在スケジュールされているすべてのコンテンツを上書きします。
Package Name Generation	アップロードされた EPG ファイルから作成されたイベントをスケジュールすると、メディア スケジューラはチャンネル名、タイトルの要約、および単語「package」を組み合わせたパッケージ名を作成します。パッケージ名がすでに存在する際に、新しいパッケージ名を自動生成する場合は、[Enable] を選択すると、開始時刻がパッケージ名に追加されます。パッケージ名がすでに存在し、Metadata Editor を使用してパッケージ名を作成する場合は、[Disable] を選択します。

- ステップ 4** ページの [Media Scheduler] セクションの [Input Channels Displayed] で、スケジュールするチャンネルのチェックボックスをオンにするか、[Select All] チェックボックスをオンにしてすべてのチャンネルを選択します。
- ステップ 5** Master レベルのアクセス権限があり、すべてのユーザにこのページのユーザ デフォルト設定を適用したい場合は、[Apply To All Users] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 6** 変更を保存するには、[Save] をクリックします。  
フィールドをクリアしてやり直すには、[Reset] をクリックします。

## サーバメンテナンス

[Server Maintenance] ページでは、メンテナンス用にサーバをオフロードおよびシャットダウンする機能と、サーバをシャットダウンせずに再起動する機能を提供します。[Server Maintenance] ページには、次の項目が含まれます。

- [サーバの再起動](#)
- [サーバのシャットダウン](#)
- [サーバのオフロード](#)
- [システムしきい値の設定](#)

### サーバの再起動



#### 注意

アクティブな取り込みおよびストリームが存在する間に Vault または Streamer サーバを再起動すると、現在の取り込みおよびストリームが失敗します。

サーバの再起動は単純に装置をシャットダウンし、インストールされたバージョンのソフトウェアイメージを使用して再起動します。このアクションは、装置の電源をオフにしません。

サーバを再起動するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Maintain] > [Servers] > [Server Restart] を選択します。[Server Restart] ページが表示されます。
  - ステップ 2** [Server IP] ドロップダウン リストから、サーバの IP アドレスまたはニックネームを選択し、[Display] をクリックします。サーバタイプと ID、およびアレイ ID が表示されます。
  - ステップ 3** [Restart] ドロップダウン リストから、[Yes] を選択し、[Submit] をクリックします。
- 

## サーバのシャットダウン



### 注意

アクティブな取り込みおよびストリームが存在する間に Vault または Streamer サーバをシャットダウンすると、現在の取り込みおよびストリームが失敗します。

シャーシの電源ボタンを使用して装置の電源をオフにすることによるシャットダウンは、シャットダウン時のシステム ステータスを含む設定情報の破損につながる可能性があるため、推奨しません。

CDSM を使用したシャットダウンおよび再起動を推奨します。[Server Shutdown] は、選択した装置をシャットダウンし、電源をオフにします。

サーバをシャットダウンし電源をオフにするには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Maintain] > [Servers] > [Server Shutdown] を選択します。[Server Shutdown] ページが表示されます。
  - ステップ 2** [Server IP] ドロップダウン リストから、サーバの IP アドレスまたはニックネームを選択し、[Display] をクリックします。サーバタイプと ID、およびアレイ ID が表示されます。
  - ステップ 3** [Shutdown] ドロップダウン リストから、[Yes] を選択し、[Submit] をクリックします。
- 

## サーバのオフロード

[Server Offload] ページにより、サーバのオフロードをイネーブルまたはディセーブルにできます。[Server Offload] がサーバでイネーブルになっている場合、サーバは新規のプロビジョニングを拒否するように設定されます。つまり、Vault 上での新規の取り込みや、Streamer 上での新規のストリームを許可しません。

[Server Offload] をイネーブルにするには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Maintain] > [Servers] > [Server Offload] を選択します。[Server Offload] ページが表示されます。
  - ステップ 2** [Server IP] ドロップダウン リストから、サーバの IP アドレスまたはニックネームを選択し、[Display] をクリックします。サーバタイプと ID、およびアレイ ID が表示されます。
  - ステップ 3** [Enable] を選択し、[Submit] をクリックします。
- 

[Server Offload] をイネーブルにした後は、現在のトラフィック アクティビティをモニタできます。サーバのオフロードが完了すると、ソフトウェアをアップデートできます。Vault サーバのアクティビティを表示するには、「コンテンツ オブジェクトのモニタリング」(P.4-4) を参照してください。

Streamer のアクティビティを表示するには、「[ストリームオブジェクトのモニタリング](#)」(P.4-13) を参照してください。サーバが ISV の場合、ソフトウェアをアップデートする前に、アクティビティがコンテンツ オブジェクトとストリーム オブジェクトの両方で完了していることを確認します。



(注) [Server Offload] 設定は、システムをリブートしても変わりません。

## サーバオフロード：ディセーブル

ソフトウェア アップグレードまたはメンテナンスが完了した後は、サーバがシステムに再び組み込まれるように、サーバのオフロードをディセーブルにする必要があります。

[Server Offload] をディセーブルにするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Maintain] > [Servers] > [Server Offload] を選択します。
- ステップ 2** [Server IP] ドロップダウン リストから、サーバの IP アドレスまたはニックネームを選択し、[Display] をクリックします。サーバタイプと ID、およびアレイ ID が表示されます。
- ステップ 3** [Disable] を選択し、[Submit] をクリックします。

## システムしきい値の設定

[System Thresholds] ページでは、CDS リソースの損失と使用率に対するしきい値を設定し、CDS サービスのモニタリングをイネーブルまたはディセーブルにできます。ページの [Performance Parameters] セクションにしきい値があります。ページの [System Services] セクションで、特定のサービスのモニタリングをイネーブルまたはディセーブルにできます。モニタするシステム サービスを表示するには、「[サービス モニタ](#)」(P.4-33) を参照してください。表 7-4 に、[Performance Parameters] セクションの各しきい値と、各しきい値がモニタされる場所を示します。

表 7-4 パフォーマンスしきい値

しきい値	モニタしているページ
Port Loss	「 <a href="#">システムヘルス</a> 」(P.4-2) の [Network] インジケータ ボックス。
Disk Loss	「 <a href="#">システムヘルス</a> 」(P.4-2) の [Disk] インジケータ ボックス。
Disk Capacity Notify	「 <a href="#">ディスク モニタ</a> 」(P.4-26)。
Disk Capacity Warning	「 <a href="#">ディスク モニタ</a> 」(P.4-26)。
Linux File System Usage	「 <a href="#">ディスク モニタ</a> 」(P.4-26)。

システムのしきい値を設定し、システム サービスをイネーブルまたはディセーブルにするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Maintain] > [Servers] > [System Thresholds] を選択します。[System Thresholds] ページが表示されます (図 7-2)。

図 7-2 [System Thresholds] ページ

**System Thresholds MAINTAIN**

System Thresholds can be set to customize the values used in determining warning levels for the CDS platform. To customize these values edit the fields and click **Submit** below. If custom levels have been set you may return to the "as delivered" settings by clicking **Restore** below.

Performance Parameters	Current Value	Default Value
Port Loss %:	<input type="text" value="10"/>	10
Disk Loss %:	<input type="text" value="25"/>	25
Disk Capacity Notify %:	<input type="text" value="75"/>	75
Disk Capacity Warning %:	<input type="text" value="85"/>	85
Linux File System Usage %:	<input type="text" value="75"/>	75

  

System Services	Monitored	Default Value
Cisco Content Store Master:	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Monitored
Cisco Content Store Slave:	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Monitored
Cisco Stream Service Master:	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Monitored
Cisco Stream Service Slave:	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Monitored
Cisco Play Stream Service:	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Monitored
Cisco Resource Manager:	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Monitored
Cisco LSCP Proxy:	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Monitored
Cisco Cache Server:	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Monitored
Cisco DB Server:	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Monitored
Cisco SNMP Server:	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Monitored
Cisco System Manager:	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Monitored
Cisco Asset Manager:	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Monitored
Cisco Ingest Manager:	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Monitored

207297

**ステップ 2** しきい値設定を入力して、必要に応じてサービスをイネーブルまたはディセーブルにします。

**ステップ 3** [Submit] をクリックして、設定を保存します。

フィールドをクリアしてやり直すには、[Reset] をクリックします。

デフォルト設定に戻すには、[Restore] をクリックします。デフォルト値は、ページの別のカラムに表示されます。



## サービスの再起動

各サーバは、CDS の他のコンポーネントと使用できるサービスを実行します。サービスは設定が変更されるたびに、自動的に再起動されません。サービスを再起動する必要がある場合は、[Services Restart] ページでこのオプションを提供しています。このアクションは、装置の電源をオフにしてから再びオンにする操作ではありません。表 7-5 では、さまざまなサービスについて説明します。

表 7-5 [Restart Services] オプション

サービス	説明
Reload Bandwidth Manager	オプション機能。Bandwidth Manager の設定が変更されるたびに、Bandwidth Manager のリロードが必要です。
RTSP	[RTSP Setup] ページが変更されるたびに、RTSP nABLE サービスを再起動する必要があります。
SNMP	SNMP 設定が変更されるたびに、SNMP サービスを再起動する必要があります。

サービスを再起動するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Maintain] > [Services] を選択します。[Services Restart] ページが表示されます。
- ステップ 2** [Server IP] ドロップダウン リストから、サーバの IP アドレスまたはニックネームを選択し、[Display] をクリックします。サーバタイプと ID、およびアレイ ID が表示されます。
- ステップ 3** 再開する各サービスの横にあるチェックボックスをオンにし、[Submit] をクリックします。フィールドをクリアしてやり直すには、[Reset] をクリックします。
- 

## ソフトウェアメンテナンス

[Software Maintenance] ページでは、CDS ソフトウェアの表示、電子番組ガイド (EPG) ファイルのアップロード、仮想ビデオ インフラストラクチャ (VVI) のサーバ ID およびグループ ID の生成、およびトポロジファイルのアップロードができます。具体的な内容は、次のとおりです。

- [ソフトウェアバージョンとサーバ情報の表示](#)
- [EPG ファイルのアップロード](#)
- [分割ドメイン管理を使用した VVI を対象としたサーバ ID およびグループ ID の識別](#)

### ソフトウェアバージョンとサーバ情報の表示

TV CDS ソフトウェアのバージョンとサーバ情報を表示するには、[Maintain] > [Software] > [Software Version] を選択します。[Software Version] ページが表示されます。[Server IP] ドロップダウン リストから、サーバの IP アドレスまたはニックネームを選択し、[Display] をクリックします。次の情報が表示されます。

- サーバタイプ (Vault、Streamer SSV (ISV))
- ソフトウェアバージョン

- サーバ ID
- アレイ ID
- 製品 ID (PID) : CDE モデル (Cisco ISM (Integrated Service Module) ライン カードなど)
- バージョン ID (VID) : ハードウェア バージョン (V01 など)
- シリアル番号 : CDE のシリアル番号
- 追加の文字列 : モデルのバリエーション (4A-C など)

## EPG ファイルのアップロード

[EPG File Upload] ページは、電子番組ガイド (EPG) ファイルをメディア スケジューラで使用するために CDS にアップロードする際に使用できます。EPG ファイルは、XML ファイルです。



(注) EPG ファイルをアップロードする前に、チャンネル情報を入力する必要があります。詳細については、「[入力チャンネルの設定](#)」(P.3-25) を参照してください。

EPG ファイルをアップロードするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Maintain] > [Software] > [EPG Upload] を選択します。[EPG File Upload] ページが表示されます。
- ステップ 2** フルパスとファイル名を [EPG File Location] フィールドに入力するか、[Browse] をクリックし、[Browse] ウィンドウを使用してファイルを配置します。
- ステップ 3** EPG ファイルのフルパスおよびファイル名を入力した後、[Upload] をクリックします。フィールドをクリアしてやり直すには、[Reset] をクリックします。

## 分割ドメイン管理を使用した VVI を対象としたサーバ ID およびグループ ID の識別

VVIM はすべての識別子を管理し、Stream Manager は VVIM からグループ ID とサーバ ID の範囲を取得し、管理する Streamer に使用します。

表 7-6 に、CDSM GUI ID の名前と、setupfile および .arroyorc ファイル内の CServer 名とのマッピングを示します。

表 7-6 CDSM GUI および CServer ファイル内の ID 名

CDSM GUI ID 名	CServer ファイル ID 名
[Array Name] ページの [Array ID]	groupid
[Server-Level] ページの [Group ID]	groupid
[Server Setup] ページの [Stream Group ID]	arrayid
[Server Setup] ページの [Cache Group ID]	arrayid
[Server Setup] ページの [Vault Group ID]	arrayid
[Configuration Generator] ページの [Stream Group ID]	arrayid

## VVIM からのサーバ ID とグループ ID の生成

[Configuration Generator] ページが Stream Manager のグループ ID およびサーバ ID を生成するために使用されます。Stream Manager が cdsconfig スクリプトを使用して初期設定中に VVIM に問い合わせると、VVIM は ID を生成して Stream Manager に送信し、[Configuration Generator] ページのテーブルに入力します。これはポート 80 で HTTP GET 要求によって実行されます。

Stream Manager が初期設定中に VVIM に問い合わせできない場合、cdsconfig スクリプトは Stream Manager の管理者に、サーバ ID を VVIM 管理者に問い合わせるよう要求します。VVIM 管理者は [Configuration Generator] ページに移動し、Stream Manager の ID を生成します。

HTTP Streamer の場合、Stream Manager が VVIM に到達できない場合、ポート 80 が通信用に開いていないか、他の接続の原因があるため、Stream Manager の管理者は必要な情報について VVIM 管理者に問い合わせることができます。この情報は、次のとおりです。

- Stream Group ID
- Cache Group 情報

[Configuration Generator] ページを使用して、VVIM 管理者はグループ ID とサーバ ID の範囲を検索し、必要に応じて ID を生成できます。VVIM 管理者は、Stream Manager の管理者が [Stream Groups Setup] ページで要求されたときに入力する、Stream Group 用の最初のグループ ID を提供することができます。

Cache Group 情報が CacheGroupsConfig.xml という XML ファイルに含まれています。VVIM 管理者は [Download] リンクをクリックして CacheGroupsConfig.xml ファイルを表示し、[Download] リンクを右クリックして、XML ファイルをローカルに保存できます。この XML ファイルは Stream Manager の管理者に送信することができ、Stream Manager では [Cache Group Locator] ページからファイルをアップロードできます。

新しい ID を生成したり、既存の ID を表示するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Maintain] > [Software] > [Configuration Generator] を選択します。[Configuration Generator] ページが表示されます (図 7-3)。

図 7-3 [Configuration Generator] ページ

Streaming Domain IDs and Configuration File Generator *MAINTAIN*

Click **Download** link below to view the Cache Groups Configuration File. To save it to the local disk, right click on the **Download** link and select the option to save the target file.

[Download Cache Group Configuration File.](#)

A new range start for Stream Group IDs and Server IDs may be generated and issued to the Streamer Domain CDSM administrator in order to add Streamers to a Streamer Domain and start configuring Stream Groups. Click **Generate New IDs** button below to generate a new ID.

Stream Domain Name :

Stream Manager IP :

Stream Domain Name	Stream Domain CDSM IP	Stream Group ID Range	Server ID Range	Setup ID Range	
StreamDomain1	172.22.98.90	10001 - 20000	1001 - 1250	5 - 6	
StreamGroupVZ	<a href="#">Not Captured</a>	30001 - 40000	1501 - 1750	7 - 8	
testdomain	172.22.99.23	40001 - 50000	1751 - 2000	13 - 14	
testdomain1	172.22.99.23	50001 - 60000	2001 - 2250	15 - 16	
VH02STREAMDOMAIN	172.22.99.23	20001 - 30000	1251 - 1500	23 - 24	
VH02StreamDomain	<a href="#">Not Captured</a>	20001 - 30000	1251 - 1500	5 - 6	
VH02STREAMINGDOMAIN3	<a href="#">Not Captured</a>	30001 - 40000	1501 - 1750	7 - 8	

203546

- ステップ 2** [Stream Domain Name] フィールドに、ID の生成対象となる Stream Manager の名前を入力します。
- ステップ 3** [Stream Manager IP] フィールドに、ID の生成対象となる Stream Manager の IP アドレスを入力します。
- ステップ 4** [Generate New IDs] をクリックします。

## [Configuration Generator] テーブル

[Configuration Generator] ページのテーブルには、ストリームのドメイン名、Stream Manager の IP アドレス、および各 Stream Manager に割り当てられている ID の範囲が表示されます。

### Stream Group ID の範囲およびサーバ ID の範囲

グループ ID およびサーバ ID は、「not generated」とテーブルに表示される場合があります。ID を生成するには、[Stream Group ID Range] カラムの「Not generated」テキストをクリックします。ID を生成するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックします。

### Stream Manager の IP アドレス

Stream Manager の IP アドレスは、[CDSM Setup] ページを使用して Stream Manager を設定するまで、[Configuration Generator] ページのテーブルには含まれません。Stream Manager の IP アドレスの取得に失敗する場合があります。この場合、エントリには「Not Captured」と表示されます。IP アドレスを手動で入力するには、「Not Captured」リンクをクリックします。テキストボックスに更新アイコン（プラス記号）とキャンセルアイコン（X）が示されます。

### 設定 ID の範囲

設定 ID は分割ドメイン管理機能を持ち、CCP Streamer を使用している RTSP 環境でのみ使用されます。VVIM は各ストリーム ドメインに 2 つの設定 ID のみ生成します。設定 ID は Stream Group の Setup サーバの識別に使用されます。Setup および Control サーバは [Control/Setup IP] ページの各 Stream Group に設定されます。詳細については、「Control および Setup IP の設定」(P.3-44) を参照してください。Stream Manager が 2 つの割り当てられた設定 ID を使用する場合、Stream Manager は新たな設定 ID セットを VVIM に問い合わせます。Stream Manager と VVIM 間の接続に失敗すると、Stream Manager の管理者は VVIM 管理者に ID を問い合わせます。[Setup ID Range] カラムの [Generate new Setup ID] 範囲アイコンをクリックすると、新しい設定 ID を生成できます。



(注)

CCP Streamer は、RTSP 環境の VVI 分割ドメイン管理ではサポートされません。

## マニュアル

マニュアルを表示するには、[Maintain] > [Manuals] を選択します。[Manual] ページが表示されます。マニュアルへのリンクをクリックします。マニュアルは、ブラウザの Acrobat Reader プラグインで表示されます。



ヒント

コンピュータにマニュアルをダウンロードするには、マニュアルのリンクを右クリックし、後で表示できるようにハード ドライブ上の場所にマニュアルを保存します。

